

定例記者会見（1月）

日 時：1月31日（月）14:00～

場 所：鏡支所 3階大会議室

■市政の動向

【市長発言】

- | | | |
|-------|---------------------------|------|
| No. 1 | 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種（追加接種） | P. 1 |
| No. 2 | 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付 | P. 2 |
| No. 3 | 坂本町の復興に向けた取組み | P. 3 |
| No. 4 | デジタル医療MaaS推進事業の実施 | P. 4 |
| No. 5 | 八代市新庁舎落成式及び内覧会の開催 | P. 7 |

【資料のみ】

- | | | |
|-------|--|-------|
| No. 6 | 八代市立小・中・特別支援学校におけるタブレットを活用した電子書籍利用の導入 | P. 14 |
| No. 7 | いっそDE フェスタ 2022 | P. 16 |
| No. 8 | 市立博物館開館30周年記念 令和3年度冬季特別展覧会
「お殿様は買いもの上手～こだわりの江戸土産～」展 | P. 18 |
| No. 9 | 「やっしろ」のお雛祭り | P. 21 |

定例記者会見資料 No.1

タイトル	新型コロナウイルスワクチンの3回目接種（追加接種）について														
目的	新型コロナウイルスワクチンの3回目接種（追加接種）について、接種間隔を短縮して接種を実施する。（前倒し接種）														
日時															
場所															
内容	<p>【3回目接種の実施】 接種間隔を短縮して接種を実施する。（前倒し接種の実施）</p> <p>○高齢者の方（65歳以上） 2月中： 2回目接種から7カ月経過した方（1カ月の前倒し） 3月以降： 2回目接種から6ヶ月経過した方（2カ月の前倒し）</p> <p>○一般の方（18歳以上64歳以下） 3月以降： 2回目接種から7カ月経過した方（1カ月の前倒し）</p> <p>※医療従事者等、高齢者・障がい者の施設等の入所者や従事者、通所サービス事業所の利用者や従事者、医療機関の入院患者は、2回目接種から6か月を経過した後に接種することができます。</p> <p>接種券の発送 ・2回目接種を令和3年6月13日までに接種した方は、1月14日（金）に発送済みです。 ・以後は、2月4日（金）以降、対象の方に随時発送します。</p> <p>接種の予約方法 医療機関の情報を市のホームページまたは八代市ワクチン接種コールセンターで確認し、希望の医療機関に予約します。 ※集団接種は、武田/モデルナ社ワクチンを使用し3月以降に実施予定。</p> <p>【市全体の接種状況】 1月28日現在</p> <table border="0"> <tr> <td>1回目接種者数</td> <td>101,296人（80.73%）</td> </tr> <tr> <td>2回目接種者数</td> <td>100,645人（80.21%）</td> </tr> <tr> <td>3回目接種者数</td> <td>2,376人（1.89%）</td> </tr> </table> <p>総人口 125,470人（令和3年1月1日）</p> <p>全国の接種状況 1月27日現在</p> <table border="0"> <tr> <td>1回目接種者数</td> <td>94,650,017人（74.74%）</td> </tr> <tr> <td>2回目接種者数</td> <td>93,878,381人（74.13%）</td> </tr> </table> <p>総人口 126,645,025人（令和3年1月1日）</p> <p>熊本県の接種状況 1月27日現在</p> <table border="0"> <tr> <td>1回目接種者数</td> <td>1,304,120人（74.15%）</td> </tr> <tr> <td>2回目接種者数</td> <td>1,295,437人（73.66%）</td> </tr> </table> <p>総人口 1,758,645人（令和3年1月1日）</p>	1回目接種者数	101,296人（80.73%）	2回目接種者数	100,645人（80.21%）	3回目接種者数	2,376人（1.89%）	1回目接種者数	94,650,017人（74.74%）	2回目接種者数	93,878,381人（74.13%）	1回目接種者数	1,304,120人（74.15%）	2回目接種者数	1,295,437人（73.66%）
1回目接種者数	101,296人（80.73%）														
2回目接種者数	100,645人（80.21%）														
3回目接種者数	2,376人（1.89%）														
1回目接種者数	94,650,017人（74.74%）														
2回目接種者数	93,878,381人（74.13%）														
1回目接種者数	1,304,120人（74.15%）														
2回目接種者数	1,295,437人（73.66%）														
問合せ先	健康推進課 TEL0965-30-7501（直通） 担当：森田														

定例記者会見資料 No.2

<p>タイトル</p>	<p>住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付</p>
<p>内 容</p>	<p>【概要】 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の一つとして、住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を給付する。</p> <p>【給付額】 一世帯当たり 10万円</p> <p>【支給対象者】 次の支給対象世帯の世帯主</p> <p>1 住民税非課税世帯 基準日（令和3年12月10日）において、世帯全員の令和3年度分住民税均等割が非課税である世帯。 （住民税が課税されている方の被扶養者からなる世帯を除く。）</p> <p>2 家計急変世帯 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年1月以降に家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯。</p> <p>【支給対象世帯数】 約2万世帯</p> <p>【支給方法】</p> <p>1 住民税非課税世帯（プッシュ型による給付） 2月中旬までに案内チラシと確認書を送付し、返送された確認書を受け付け、順次支給。第1回の支給を2月25日（金）に予定。</p> <p>2 家計急変世帯（申請による給付） 3月から9月末まで申請書を受け付け、該当する世帯に対して順次支給。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>臨時特別給付金事業推進室 TEL0965-37-8173（直通） 担当：渡辺、小川</p>

定例記者会見資料 No.3

<p>タイトル</p>	<p>坂本町の復興に向けた取組み</p>
<p>内容</p>	<p><u>坂本町の復興へ向けた説明会</u></p> <p>このことについて、次のとおり坂本町地域住民の皆様へご説明を行います。</p> <p>【説明概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本支所周辺のまちづくりや支所の再建に向けて、これまで2回の学識者懇談会を開催。去る1月26日(木)、懇談会・会長の柿本教授から市長へ、その検討結果の報告が行われており、このことを受け、市としての支所周辺のまちづくりや支所の再建場所等に関する考え方等を説明する。 ・坂本支所の再建とともに坂本町における新たな防災拠点の整備に向けて、これまで庁内において概ねの位置や機能等について検討を重ねてきており、その検討結果について説明する。併せて、避難先の確保策案についても説明する。 ・坂本町における医療の確保については、復興まちづくり計画策定に向けた地区別懇談会でも、多くのご意見をいただいているところ。その対応として、令和4年度からデジタル技術の活用によって医療提供するデジタル医療MaaS推進事業（モバイルクリニック事業）に取り組むこととしており、その事業概要について説明する。 ・坂本町の各地区の目指す姿や地区の魅力などについて、旧小学校8校区で開催した地区別懇談会におけるご意見等の取りまとめ状況について説明する。 <p>日時 2月14日(月)</p> <p>昼の部 午後 1時00分から</p> <p>夜の部 午後 7時00分から</p> <p>(昼の部、夜の部とも説明内容は共通)</p> <p>場所 坂本コミュニティセンター</p> <p>項目 ①坂本支所再建（学識者懇談会の検討結果）について ②避難所の確保や新たな防災拠点の検討状況について ③デジタル医療MaaS推進事業（モバイルクリニック事業）の実施について ④旧小学校8校区ごとの復興まちづくり計画の取りまとめ状況 ※新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催いたします。 (マスク着用、検温、消毒等を実施)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>① ④復興推進課 TEL0965-62-8807 (直通) 担当：宮川、山口、松本 ② 危機管理課 TEL0965-334112 担当：西村、岩田、小林 ③ 健康福祉政策課 TEL0965-33-4003 担当：野田、相澤</p>

定例記者会見資料 No.4

<p>タイトル</p>	<p>デジタル医療MaaS 推進事業の実施 ～九州初のデジタル技術の活用によるモバイルクリニックの実施～</p>
<p>内容</p>	<p>【背景・目的】 令和2年7月豪雨災害により坂本町は2つの医療機関が被災し、現在は無医地区の状況にあり、市街地の医院による巡回診療や往診が行われている。しかしながら、往診等の機会が限られていることから、住民から早期の医療提供体制の確立を望まれているところである。 これらの状況を改善するため、まずは移動診療車や遠隔医療機器を導入し、デジタル技術の活用による医療提供を行うモバイルクリニックを実施する。 更にこの取組は医師不足が課題となっている中山間地域へ順次展開することも視野に入れながら実施する。</p> <p>【事業概要】 坂本町等の医療提供体制の構築に向け、移動診療車や遠隔医療機器を整備するとともに、定期的に医療機関の看護師等が乗車し各地域を巡回する。慢性疾患をもつ患者は移動診療車に乗り込み、車内で医師によるオンライン診療を受ける。 また、医院による移動診療車の予約や、患者が巡回ルートをスマートフォン等で確認できるようなシステムを構築する等、デジタル技術の活用による医療 MaaS の仕組みも兼ね備えたモバイルクリニックの実証事業及び運用を行う。(別紙参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル医療 MaaS 医療サービスと従来の交通手段を掛け合わせて新たな医療の選択肢を患者(住民)と医療者に与えることのできるサービス。 ・モバイルクリニック 各集落や各家庭などに、看護師等が遠隔医療機器等を搭載した移動診療車で訪問し、医師の指示のもと医療サービスを提供する。

【年度別スケジュール(想定)】

① 令和4年度

- ・医療、行政、交通等関係機関で構成する協議会の発足及び、医療 MaaS 実証に向けての企画及び配車システムの構築。

- ・モバイルクリニック実証事業

坂本町で遠隔医療機器等を積載した、オンライン診療が可能な移動車両で看護師が各地区や各家庭などに出向き、市街地の診療所にいる医師がオンライン診療を行う。

② 令和5年度

モバイルクリニック実証事業

- ・坂本町で遠隔医療機器等を積載した、オンライン診療が可能な移動車両で看護師が各地区や各家庭などに出向き、市街地の診療所にいる医師がオンライン診療を行う（継続）。

- ・オンライン診療での服薬指導や薬剤配送の実証を行う。

- ・八代市は中山間地域が7割以上も占めることから、他地域での運用の可能性の検討を行い、地域住民及び医療機関の更なる負担軽減を図る。

- ・実証事業による課題を検証する。

③ 令和6年度

- ・モバイルクリニックの本格運用

前年度の検証結果を踏まえ、医療機器等を積載したオンライン診療車による医療サービスの運用を本格開始し、必要に応じて中山間地域等へ拡大する。

【事業実施による効果】

① 坂本町等における医療提供体制の充実。

② 高齢患者の移動負担の軽減。

③ 医師の往診等の負担軽減による持続的な事業実施。

問合せ先

健康福祉政策課 TEL0965-33-4003 (直通) 担当：野田、相澤

オンライン診療・服薬指導、医療MaaS

課題

- 令和2年7月豪雨災害により坂本町は2つの医療機関が被災し、現在は無医地区の状況
- 巡回診療や往診が行われているもの、地域からは早期に医療機関の設置を求める声が大きい
- 医療提供体制の確保に向けて医療関係機関と協議中ではあるが、今しばらくの時間が必要

対応策

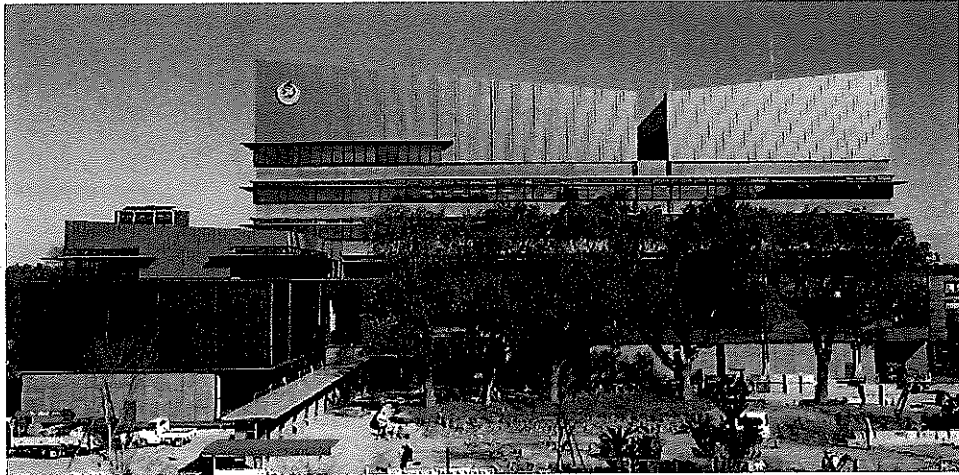
- 坂本支所周辺への医療提供体制確立に向けて、きめ細やかな医療サービスを提供する必要
- 患者の移動負担軽減や往診回数削減による医師の負担の軽減を考慮した医療を提供

【事業概要及びイメージ図】

- 遠隔医療機器を装備した移動診療車に看護師が乗車し、テレビ会議システムにより市街地により市街地にいる医師が患者を診察。
- 配車予約システムにより、医師がオンライン診療のスケジュールに応じ、効率的なルートで地域や患者宅を巡回。



定例記者会見資料 No.5

タイトル	八代市新庁舎落成式及び内覧会の開催															
日時	令和4年2月5日(土) 10:00~12:00															
場所	八代市本庁舎1階															
内容	<p>平成28年の熊本地震で被災し、令和元年に着工した八代市本庁舎の建て替え工事を行ってきた新庁舎が完成を迎え、落成式を下記のとおり開催する。</p> <p>また、新庁舎には防災機能の強化、市民交流エリアの設置、窓口機能を低層階に集約する等、様々な工夫を凝らしており、これらの機能や特徴を広くご理解いただくため、出席者及び報道機関向けの内覧会を開催する。</p> <p>なお、2月5日、6日に予定していた市民向け内覧会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとした。</p> <p>落成式 10:00~11:00</p> <p>1. オープニングセレモニー(テープカット) 八代市長、八代市議会議長、熊本県議会議員ほか</p> <p>2. 式典</p> <table border="0"> <tr> <td>①式辞</td> <td>八代市長</td> <td>中村 博生</td> </tr> <tr> <td>②挨拶</td> <td>八代市議会議長</td> <td>成松 由紀夫</td> </tr> <tr> <td>③来賓祝辞</td> <td>総務大臣</td> <td>金子 恭之</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熊本県副知事</td> <td>田嶋 徹 ほか</td> </tr> <tr> <td>④感謝状贈呈</td> <td colspan="2">設計・施工者代表</td> </tr> </table> <p>内覧会 11:00~12:00</p> <p>対象：出席者及び報道機関(別紙のとおり)</p> <p>※新庁舎は2月14日(月)8時30分からの業務開始予定。</p> 	①式辞	八代市長	中村 博生	②挨拶	八代市議会議長	成松 由紀夫	③来賓祝辞	総務大臣	金子 恭之		熊本県副知事	田嶋 徹 ほか	④感謝状贈呈	設計・施工者代表	
①式辞	八代市長	中村 博生														
②挨拶	八代市議会議長	成松 由紀夫														
③来賓祝辞	総務大臣	金子 恭之														
	熊本県副知事	田嶋 徹 ほか														
④感謝状贈呈	設計・施工者代表															

■八代市新庁舎概要

建設地：八代市松江城町1-25

構造：S造（床一部CLT）、地下柱頭免震構造

建築面積：5,791.76㎡

延床面積：27,422.74㎡

階数：地上6階、塔屋階（7階）、地下1階

最高高さ：約34.17m

総事業費：約171億円

内訳（百万円）

旧庁舎解体関連業務	646
文化財調査及び水源地補償関連業務	216
本体工事関連業務	14,917
オフィス関連業務	546
外構整備関連業務	812

全体コンセプト

■全ての市民・利用者にとって分かりやすく、利用しやすい庁舎

- ・多目的ホールや会議室など市民の交流活動の拠点としての「市民交流エリア」の設置
- ・証明書発行に特化した窓口の設置（住民票、印鑑証明など）
- ・市民利用の多い窓口機能を低層階に集約
- ・市民窓口へのデジタル技術の活用
- ・福祉総合窓口を1階に設置し、住民異動等に伴う福祉関係複数課での手続きが必要な申請や届け出について、ワンストップで対応
- ・乳幼児、保育に関する部門を2階に集約しワンストップサービス機能を充実するとともに、4階に義務教育などに関する部門を配置し、子育て世代の利便性向上を図る
- ・消費生活相談や市民相談などの機能を集約配置
- ・保健センター既往の一部移転（乳幼児の健康診査や離乳食教室の開催など）

■安全・安心の拠点となる庁舎


- ・免震構造の採用
- ・災害時に速やかに災害活動拠点に機能転換が容易な設計

内装コンセプト

温かみのある木を基調とした内装で、低層部は明るく見通しの良い空間にし、ひと目で行き先が分かる配置。

敷地コンセプト

庁舎の西側には「八代のにわ」を、南側には人々が語り合える「みどりの広場」を整備し、八代城跡との一体的な景観と調和を図る。

問合せ先	(落成式及び内覧会について) 新庁舎建設課 TEL0965-45-5523 (直通) 担当：豊田 (市民窓口へのデジタル技術の活用について) デジタル推進課 TEL0965-33-4103 (直通) 担当：鋤田、田中
取材申込み	取材申込受付はこちら (QR コード) からお願いします。 https://logofom.jp/f/WNjeV 

報道機関各位

八代市新庁舎落成式後に「プレス向け内覧会」を開催
～デジタル市役所に向けて窓口でデジタル技術を活用～

八代市では、令和4年2月5日、新庁舎の落成式に合わせ、報道機関を対象とした内覧会を次のとおり開催します。

新庁舎には防災機能の強化、市民交流エリアの設置、市民窓口へのデジタル技術の活用など、市民にとって安全・安心して訪れ、便利で親しまれる庁舎となるよう様々な工夫を凝らしています。

この新庁舎の主な機能や特徴を広くご理解いただくことを目的として実施するものです。

- 1 日時
令和4年2月5日（土）11時目途（落成式終了後、1時間程度）
- 2 場所
八代市役所本庁舎（八代市松江城町1-25）
- 3 内容
八代市新庁舎プレス向け内覧会
- 4 内覧
 - (1) 6階議会ホールから1階市民交流エリアまで順次内覧
 - (2) 1階窓口ロビーにおいて「市民窓口におけるデジタル技術の活用」を紹介
 - ①マイナンバーカードを活用したオンライン証明書申請システム
・・・【別紙1】
 - ②非接触型（空中）ディスプレイ・・・【別紙2】
 - ③モバイルバッテリーシェアリング機能付デジタルサイネージ
・・・【別紙3】上記については中村市長によるデモンストレーションを実施予定。
- 5 その他
 - ・内覧会はフルオープンで行いますが、セキュリティの関係上、一部内覧を制限する場所もありますのでご注意ください。
 - ・6階から順番に市職員がご案内しますので指示に従ってください。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を事前に把握しますので、希望される方は2月3日（木）までに「定例記者会見資料 No.5」の申込フォームから申込みしてください。
なお、希望者多数の場合は、人数を制限させていただく場合もあります。

<問い合わせ>

(1)各フロア内覧会について

新庁舎建設課 TEL0965-45-5523（直通） 担当：豊田

(2)市民窓口へのデジタル技術の活用について

デジタル推進課 TEL0965-33-4103（直通） 担当：鋤田、田中

市民窓口におけるデジタル技術の活用①

別紙1

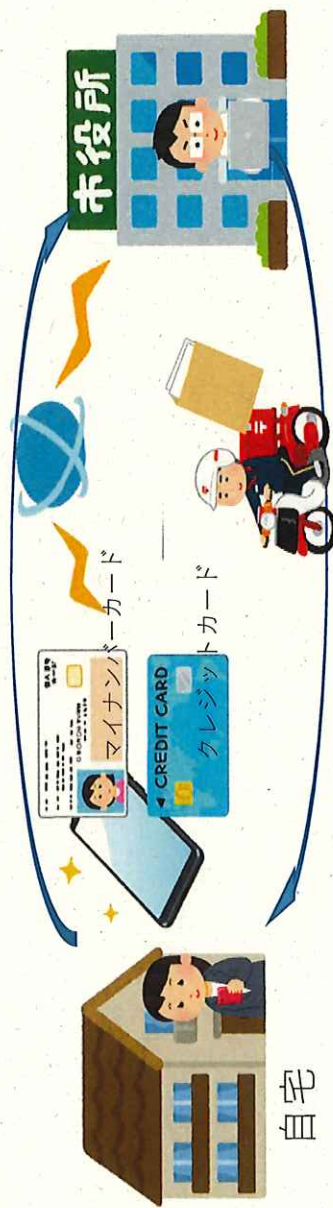
1 マイナンバーカードを活用した「オンライン証明書申請システム」の導入

県内自治体 初
2月14日(月) 開始

○概要

24時間、自宅など、いつでもどこでも、住民票等や税証明書の交付手続きがオンラインでキャッシュレス申請でき、証明書は自宅に郵送で届きます。※7月末まで郵送料無料

- ・証明書…住民票、印鑑証明書、戸籍の謄・抄本、所得課税証明書、資産証明書、納税証明書【6種類】
- ・必要なもの…マイナンバーカード、スマートフォン、クレジットカード



市民窓口におけるデジタル技術の活用②

別紙 2

2 非接触型（空中）ディスプレイの導入

全国自治体初
2月14日（月）開始

○概要

住民異動届など、各種手続きの受付を行うタッチパネルについて、空中に文字盤が浮かぶ非接触型のディスプレイを導入することで、市民が直接タッチパネルに触れることなく安心して発券機を使用することができます。



X

受付番号
111



市民窓口におけるデジタル技術の活用③

別紙 3

3 モバイルバッテリーシェアリング機能付デジタルサイネージ

県内自治体 初
2月14日(月) 開始

○概要

大規模災害等による停電により、市民や職員がスマートフォンが充電できなくなつた場合等、このチャージスポットのスマホ充電器を借りて無料で充電が可能となります。(平時においても有料貸出しを実施)

また、デジタルサイネージでは、平時には市政情報や観光・イベント情報を、発災時には防災情報の発信を行います。



定例記者会見資料 No.6

タイトル	八代市立小・中・特別支援学校におけるタブレットを活用した電子書籍利用の導入
日時	令和4年2月1日（火）より運用開始
場所	八代市電子図書館
内容	<p>背景 近年、スマートフォンの普及など、子供を取り巻く情報環境は大きな変化を見せており、子供の読書環境にも大きな影響を与えている。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年は市立図書館の休館や一部利用制限を行ったものの、電子書籍の利用は、約3倍に伸びるなど、電子書籍への関心が高まってきている。</p> <p>目的 ・児童生徒による読書活動の推進 ・GIGAスクール構想における1人1台のタブレット端末の利用促進 ・八代市DX化の推進</p> <p>内容 生徒一人ひとりに与えられているタブレット端末アカウント番号を使用し、八代市立図書館の電子書籍の閲覧・貸し出しを令和4年2月1日より運用開始する。 <u>熊本市に次いで県内で2番目、九州では4番目の取組み。</u></p> <p>電子書籍所有数 約12,000冊のコンテンツを所有。 ※令和3年11月に電子書籍約1,100冊を追加。</p> <p>対象児童（R3.12現在） 小学生 6,232人 中学生 2,934人 合計 9,253人</p> <p>効果等 ・市立図書館に出向かなくても、インターネットにより、いつでもどこでも、借りて、読んで、返すことが可能。 ・これまで本にはあまり興味がなかった児童生徒から、興味はあるけどなかなか図書館に来られなかった児童生徒まで、読書活動の機会が増える。 ・小・中学生のタブレット端末の利用促進 ・八代市DX化の推進</p>
問合せ先	生涯学習課 TEL 0965-30-1110 担当：村上、市村 八代市立図書館 TEL 0965-32-3385 担当：野間口、吉野

【八代市電子図書館】

【参考コンテンツ】

定例記者会見資料 No.7

タイトル	いっそDE フェスタ 2022
目的	「男女がともにいきいきと暮らしていける社会（男女共同参画社会）」について市民のみなさんに理解を深めていただくことを目的に、『いっそDE フェスタ 2022』を開催します。
日時	令和4年2月13日（日）午前10時00分～午後12時00分
場所	桜十字ホールやつしろ市民ホール（八代市新町5-20・0965-53-0033）
内容	<p>某コンビニで売り上げ1位を記録した「悪魔のおにぎり」の生みの親であり、南極観測隊初の「かあちゃん」調理隊員として活躍した渡貫淳子さんの講演会を行います。</p> <p>今年は、忙しくて会場まで足を運べない働く世代から、パソコン等の扱いに不慣れな人まで、すべての人にご覧いただくために、会場での講演動画上映会のほか、オンライン配信、さらに初めてケーブルテレビでも放送します。</p> <p>昨年度のオンライン講演会では期間中、約200人が動画を視聴し、好評の声を多数いただきました。</p> <p>【オンライン配信】 配信期間 令和4年2月14日（月）午前10時00分～2月28日（月）10時00分</p> <p>【ケーブルテレビ放送】 放送期間 令和4年2月14日（月）～2月21日（月）</p> <p>【上映会】 ※新型コロナウイルスの影響により中止になりました。</p> <p>日時 令和4年2月13日（日）午前10時00分～午後12時00分 場所 桜十字ホールやつしろ市民ホール 内容 (1)講演動画上映会 (2)パネル・写真展示</p>
問合せ先	人権政策課 TEL0965-30-1701（直通） 担当：山下、酒井



向きあい・語りあい・認めあい ^{とも}男女にめざそう調和の社会

参加
無料

いっそDEフェスタ2022



なりたい自分を
あきらめない

上映会 2/13 (日)

オンライン配信・ケーブルテレビ放送 2/14 (月) ~

講演会
南極ではたらく
～かあちゃん、調理隊員になる～

講師
わたぬき じゅんこ
渡貫 淳子さん



講師プロフィール
1973年青森県八代市生まれ。調理師。「エコール辻東京」を卒業後、同校の日本料理技術職員に。出産後は一旦職場を離れ、一児の母として家事・育児に奮闘する日々を送ってきたが、一念発起して南極観測隊の調理隊員にチャレンジ。3度目の挑戦で見事合格を果たし、母親としては初の調理隊員として第57次南極地域観測隊に参加。帰国後は、各誌でのレシピ紹介や講演会など活動の場を広げる。

2018年6月放送の「世界一受けたい授業」(日本テレビ)で紹介された「悪魔のおにぎり」が大反響を呼び、南極での料理が話題となった。
著書に『南極ではたらく かあちゃん、調理隊員になる』(平凡社)がある。

上映会 手話通訳あり 託児あり ※要予約
開催日時 2022年2月13日(日) 10:00開演(9:30開場)
会場 桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール) 市民ホール
定員 250人
託児 1歳～就学前 2/3(木)までに要予約
・講師は会場に来ません。
・ホワイエで写真、パネル展示もあります。
・新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる場合があります。

オンライン配信 動画共有サイトVimeo(ヴィメオ)による配信 ※要申込
配信期間 2022年2月14日(月) 10:00～2月28日(月) 10:00
定員 250人
・視聴には事前の申込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

ケーブルテレビ放送
放送期間 2022年2月14日(月)～2月21日(月)
対象 ケーブルテレビに加入している人
・放送時間帯は番組表をご確認ください。



主催 八代市・いっそDEフェスタ実行委員会
お申込み・お問合せ いっそDEフェスタ実行委員会事務局(八代市人権政策課内)
TEL.0965-30-1701 FAX.0965-46-1950 gender-equal@city.yatsushiro.lg.jp

講演会

南極ではたらく～かあちゃん、調理隊員になる～

参加
無料

お申込み ※受付開始 2021年12月24日(金)9:00～

- ▶ 申込フォーム(QRコード、URL)、メールまたはFAXでお申込みください。
- ▶ 受付は先着順です。定員になり次第締め切ります。
- ▶ お申込みの方のみに後日視聴URLをお知らせします。

申込フォーム QRコード



【申込フォーム】

QRコードまたはURLから申込フォームにアクセスし必要事項をご入力ください。

〈申込フォームURL〉

https://s-kantan.jp/city-yatsushiro-kumamoto-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=6183

【メール】氏名(ふりがな)、年代、住所、電話番号、メールアドレスをご記入の上、送信してください。

【FAX】下の「視聴申込書」をご記入の上、送信してください。

視聴申込書

ふりがな 氏名		年代	歳代
住所	〒	電話番号	
メールアドレス		所属 (企業・団体名)	

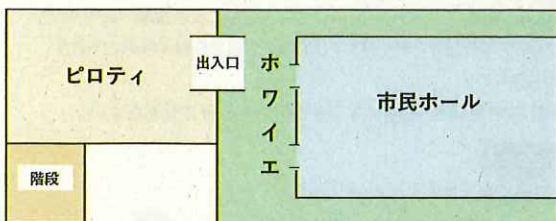
視聴方法 ※視聴できる期間 2022年2月14日(月)10:00～2月28日(月)10:00

- ▶ 動画共有サイトVimeo(ヴィメオ)による配信
- ▶ 視聴には、パソコン、スマートフォンまたはタブレットなどの端末とインターネット接続環境が必要です。
- ▶ 通信料は参加者負担となります。Wi-Fiの利用をお勧めします。

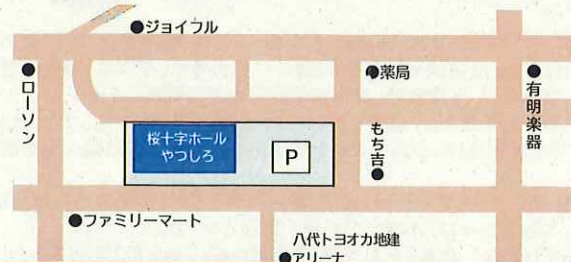
*動画の構成(全120分以内) ▶ オープニング ▶ 講演会

*写真・パネル展示 2022年2月13日(日)9:30～12:00 桜十字ホールやつしろ ホワイエ
「男女共同参画社会実現のために」「語り継ぎたい やつしろの女性たち」他

桜十字ホールやつしろ 2F見取り図



桜十字ホールやつしろ 熊本県八代市新町 5-20 Tel.0965-53-0033



主催 八代市・いっそDEフェスタ実行委員会

お申込み・お問合せ いっそDEフェスタ実行委員会事務局(八代市人権政策課内)

Tel.0965-30-1701 FAX.0965-46-1950 gender-equal@city.yatsushiro.lg.jp

定例記者会見資料 No.8

<p>タイトル</p>	<p>市立博物館開館30周年記念 令和3年度冬季特別展覧会 「お殿様は買いもの上手～こだわりの江戸土産～」展</p>
<p>目的</p>	<p>平成3年(1991)に開館した博物館は、令和3年度開館30周年を迎えるため、「開館30周年記念」を冠して年4回の特別展を開催する。 冬季特別展は、当館の30年の歩みの中で主要事業として進めてきた松井文庫所蔵品調査の成果として、旧八代城主松井家が江戸から持ち帰ったさまざまな美術工芸品を紹介する。</p>
<p>日時</p>	<p>冬季特別展覧会会期 令和4年2月4日(金)～3月13日(日)</p>
<p>場所</p>	<p>八代市立博物館未来の森ミュージアム 特別展示室</p>
<p>内容</p>	<p>■展覧会概要 肥後熊本藩筆頭家老であり、八代城主をつとめた松井家は、幕府からも知行地を与えられており、家督相続と将軍代替わりの際には江戸へ赴き、将軍へ拝謁する習わしであった。松井家が持ち帰った江戸土産は、当時の流行や江戸文化の粋が詰まった紙入や煙草入などで、素材の珍しさやデザインの面白さで今なお私たちの目を楽しませてくれる。八代に残る貴重なコレクションを通じ、手仕事の技に宿る美を楽しんでいただきたい。 同コレクションは、平成11年当館の秋季特別展「彩発見」で初めて紹介し、平成14年には東京の「たばこと塩の博物館」で特別展が開催されるなど全国的にも注目される内容である。今回の展示では、その後の古文書調査の成果も加え、江戸土産から垣間見える城主と家族の関係も紹介する。</p> <p>会 期 令和4年2月4日(金)～3月13日(日) 休 館 日 毎週月曜日 会 場 特別展示室 主 催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市 特別協力 一般財団法人松井文庫 協 賛 八代市立博物館友の会 観 覧 料 一般 400円(320円) 高大生 300円(240円) ※()内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方、中学生以下は無料</p> <p>出品点数 174点</p> <p>■展覧会講座「こだわりの江戸土産」 2月20日(日) 講師：担当学芸員 ①午前10時～11時30分 ②午後2時～3時30分 ※各回定員30名、要事前申込(2月1日より申込受付) ※コロナ対策として定員を少人数にせざるを得ないため、同内容を2回行い、受講機会を増やしている。</p> <p>■同時期開催中 常設展示室「松井文庫Ⅳ 小袖の美～武家女性の装い～」 会 期 令和4年1月18日(火)～3月6日(日) 会 場 第二常設展示室 松井文庫に残る江戸時代の小袖12領を展示。この数展示するのは初めて。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>博物館 TEL0965-34-5555(直通) 担当：山崎</p>



開館30周年記念 令和3年度冬季特別展覧会

お殿様は 買いもの上手

～こだわりの江戸土産～



令和4年
2月4日(金)～3月13日(日)

- 開館時間 9時～17時(ただし入館は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日
- 観覧料 一般 400円(320円) 高大生 300円(240円)
※中学生以下、障がい者手帳などをご提示の方は無料
※()内は20名以上の団体料金
- 主催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市
- 特別協力 一般財団法人松井文庫
- 協賛 八代市立博物館友の会

展覧会講座 「こだわりの江戸土産 -その魅力とは?-」

- とき 令和4年2月20日(日)
①午前10時～11時30分 ②午後2時～3時30分
- ところ 博物館講義室(聴講無料)(定員 各回30人 ①②同内容)
- 講師 山崎 撰(本館学芸員)
※電話による事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。
※2月1日(火)午前9時より受け付けます。0965-34-5555
希望される時間(①か②)をお知らせください。

- ①管迫(嘉永3年江戸土産)
- ②管迫(父上京土産)
- ③腰差煙草入(東京「大和屋」で購入)
- ④象牙製文房具(ミニチュア)
- ⑤定家文庫(江戸より持越)
- ⑥腰差煙草入(江戸「宮川」で購入)
- ⑦紙入(七宝製三ツ世紋留具付き)
- ⑧一ツ提煙草入
いずれも一般財団法人松井文庫所蔵

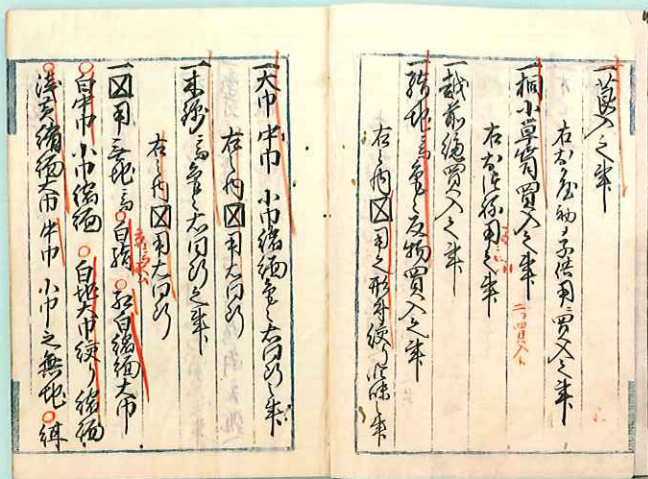
八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL.0965-34-5555 FAX.0965-33-9200 博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>



新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施します。ご来館の際は、マスク着用・ヘルスチェックシートへのご記入など感染防止対策にご協力ください。入館人数が上限に達した場合は、入場を制限することがあります。博物館の最新情報はこちらをごらんください。

子供たちのために極上の絵具や紙、筆筒などを買うこと、袴用の反物や縮緬、木綿、能の衣装、節句人形、雨傘や雪駄を買うこと、時計の修理や煙管の紋入れを頼むことなどが事細かに記されている。



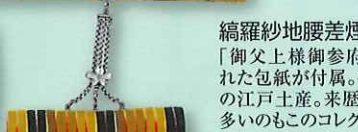
「京都・東都所々詠之品并土産物之控 全」(個人蔵)
松井章之が江戸参府に携行した備忘録。購入したものには朱線が入る。



茶呉呂地紙入
天保12年(1841)、松井家10代章之(1813~87)が家督相続御礼のため、江戸に参府した際、細川藩上屋敷にて藩主細川斉護より拝領したもの。



茶更紗地唐花文縫取紙入
安政3年(1856)、参府中の章之が知人からもらった馬尾地を、丸屋利兵衛の店に持ち込んで紙入に跳え、出来上がってから八代に届いたもの。



縞羅紗地腰差煙草入
「御父上様御参府御土産」と記された包紙が付属。嘉永4年(1851)の江戸土産。来歴がわかるものが多いのもこのコレクションの魅力。



鎧形一つ提煙草入
巾着袋は鎧袖または草摺形、根付は太刀拵の精巧なミニチュア。江戸の宮川長次郎の店で購入したもの。



火薬入形一つ提煙草入
根付は火縄銃、緒締は火縄、袋は火薬入形で松井家の家紋がつく。砲術に力を入れた章之の遺品。



放煙草入 各種

刻み煙草を入れる袋で、好みの煙管筒と組み合わせて用いた。素材も文様もさまざま。

開館30周年記念 令和3年度冬季特別展覧会
お殿様は買いもの上手 (こだわりの江戸土産)

肥後熊本藩筆頭家老であり、八代城主として藩主細川家を支えた松井家は、幕府からも知行地を与えられていたため、家督相続と將軍代替わりの際には、当主が江戸へ赴き、將軍に拝調する習わしでした。一生のうち数回しかなかった江戸参府は、地元では手に入らない高級品を買い求める絶好の機会でもあったようです。

本展では、松井家が持ち帰った江戸土産をズラリ展示します。このうち、紙入や笥迫、巾着袋など、手回り品を入れて携帯するための小さな袋物は、象牙や鼈甲、金襴や更紗、水晶や珊瑚などの珍しい材料が用いられ、蒔絵や象嵌などの細やかな技巧で飾られています。これらは、日本橋付近の有名な小間物屋で購入したもので、まさに当時の日本文化の粋を伝える品々といえます。

古今を問わず、人々はお気に入りの道具を持つことで心を落ち着かせ、細やかな手仕事に宿る美を愛でることで豊かな心を育んできました。当館の主要事業として取り組んできた松井文庫所蔵品調査の成果を通じて、日本文化の持つ豊かさや繊細さ、遊び心を楽しんでいただければ幸いです。

【交通のご案内】

- JR** 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」八代市役所前いずれかのバス停下車
- 車** 八代I.Cから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜駅前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

同時期開催 常設展示室「松井文庫Ⅳ 小袖の美～武家女性の装い～」概要

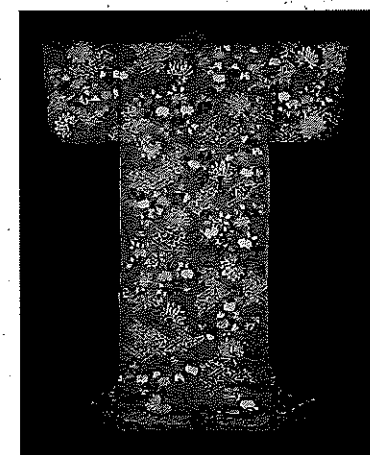
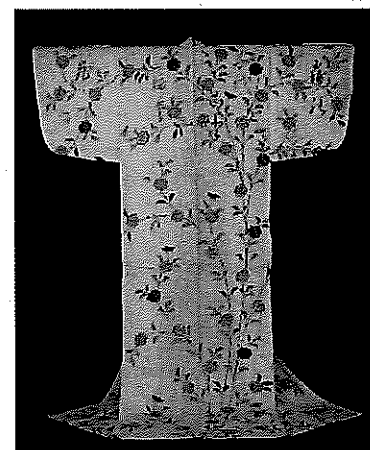
会 期 令和4年1月18日(火)～3月6日(日)

会 場 第二常設展示室

旧八代城主松井家には、女性たちが着用した小袖類が24領伝来します。小袖とは、現代のキモノの原形です。2020年夏、東京国立博物館で開催された特別展が「きもの KIMONO それはニッポンの花道(ランウェイ)」と題されたように、小袖などの染織品は、日本文化の特色をよく伝えるものとして最近とくに注目を集めています。

今回の展示では、色や材質、文様や着用する季節が重ならないよう配慮しながら12領を選んでいきます。つまり、武家女性の衣生活を知ることができる展示にもなっています。風景や草花を細やかな刺繍や染めで表した江戸時代の小袖は、ため息の出るような美しさです。これだけの数をまとめて展示するのははじめての機会です。ぜひご観覧ください。

番号	作品名
1	浅葱縮緬地秋草屋形に琴文様小袖
2	萌葱縮緬地土橋巻物文様小袖
3	紫縮緬地団扇筆硯文様小袖
4	紅縮緬地秋草文様小袖
5	浅葱紵地秋草虫籠文様小袖
6	白麻地牡丹文字文様帷子
7	白綸子地中啓に花卉文様振袖
8	紅綸子地牡丹菊羽団扇文様小袖
9	萌葱紵地龍頭船鴛鴦文様小袖
10	浅葱紵地八橋文様振袖
11	萌葱紋縮緬地唐冠屏風文様小袖
12	薄黄麻地水草裾文様帷子
13	紅紋縮緬地藤燕文様掛下帯
14	白地籬菊文様金襴提帯
15	紫紋紵地菖蒲文様腹掛
16	衣装注文帳



定例記者会見資料 No.9

タイトル	「やつしろ」のお雛祭り
目的	城下町八代ならではの歴史と文化を活かして、中心市街地の活性化につなげる
日時	令和4年2月12日（土）～3月6日（日）
場所	本町1・2・3丁目通町商店街、八代市内飲食店、松浜軒、八代市立博物館 未来の森ミュージアム、日奈久温泉街など
内容	<p>本年度は新型コロナウイルスの影響のため、規模やイベント内容を縮小して実施予定。しかしながら、工夫をこらしたさまざまな手作りイベントでお子様の無事な成長やご家族のご健康と幸せを願うとともに、来訪者へのおもてなしを行う。</p> <p>第20回 城下町「八代」のお雛祭り</p> <p>■商店街のお雛祭り 本町・通町商店街のお雛会場でお雛人形を展示 本町1丁目商店街・・・八福商店 本町2丁目商店街・・・春日神社 本町3丁目商店街・・・ふれあいサロン 通町商店街・・・メガネのみやざきさん隣</p> <p>■商店街スキルアップ教室 本町・通町商店街の各所で様々な手作り教室を開催</p> <p>■お雛ランチ・スイーツ 市内13店舗の飲食店でお雛祭り期間限定のランチ、スイーツが楽しめる。</p> <p>■スタンプラリー 八代市内各所に設置したお雛会場を巡って、スタンプを4つ以上集めると抽選で商品券や八代特産品詰め合わせが当たるスタンプラリーを実施。 ※スタンプラリーポイントは、本町・通町商店街及び日奈久の旅館に設置。</p> <p>■やつ雛俳句作品募集 八代に春を告げる「雛祭り」を題材に俳句募集を行う。 応募いただいた作品はお雛祭り終了後、八代市内各所にて展示を行う。</p> <p>■雛祭りフォトコンテスト 「やつしろのお雛祭り」をテーマにフォトコンテストを実施し、スマホ部門、プリント部門を設け、応募作品はすべてお雛祭りホームページ及びSNSにて紹介する。</p>

第13回 ひなぐ雛祭り

■くまモン雛

日奈久に設置されている19体のくまモン像に着物の着付けを行う。

■竹灯り

日奈久の竹を細工した手作りの竹灯籠。幻想的な灯りを楽しめる。

- ・日時 3月2日(水)、3月3日(木) 18時～21時
- ・場所 いこいの広場 ※雨天中止

問合せ先

観光・クルーズ振興課 TEL0965-33-4115 (直通) 担当：本石